

昭和56年3月20日

会 員 各 位 殿

つつじが丘自治会
会長

第6回定時総会開催のお知らせ

拝啓 早春の候、会員各位におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

つつじが丘自治会も多数の入居者を新たに迎え益々発展する町として自治会の果たす役割も重要性を増してきました。

つきましては、第6回定時総会を下記のように開催することとなりましたので、万障お繰り合せの上ご出席載きますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和56年4月5日(日) 午前9時30分～正午まで
2. 場 所 鵜沼西町公民館2階広間
3. 議 題 (1) 55年度会務報告承認の件
(2) 55年度決算報告承認の件
(3) 56年度予算案の審議及び承認の件
(4) 役員(会長1名、副会長1名、会計監査2名)改選の件
(5) その他

なお、準備の都合上、出欠の別を次頁出欠票にご記入の上、3月27日までに各班長さんまでご提出下さい。

また、当日欠席される方は、委任状も合せて班長さんまでご提出下さい。

昭和55年度 自治会会務報告

赤茶けた空地がやけに目立つ殺風景な私達の街も、色とりどりの家が立ち並び、その変容ぶりには目を見張るものがあります。

55年度当初に予測した通り、全入居予定戸数の約3分の1の入居戸数に当る400戸を超える入居が完了し、来るべき56年度内にも50～80戸の入居は確実となり、新興団地としての体裁をようやくととのえてまいりました。

入居戸数の増加に伴い、当然の事ながら新しい自治会員も多数迎え入れ、私達が今まで気づけなかった諸種の問題が、そこには提起されるようになってまいりました。

その第1の問題点は、自治会員の増加に伴う、会員間の意思疎通の欠除（即ち会員間の親睦の欠除）と新会員との意識差等による全体の連帯感の弱まり（これは新興団地にとすれば起りがちな現象）であります。今までの組織はお互い顔を知り合った者どうしが、こじんまりとまとまって活動して来たものが、そうではなくなって来つつある事を意味します。

第2の問題点は、つつじが丘の人口増加に伴い、市の行政的な位置づけが変化し、市の行政単位である「八木山校下」としての松ヶ丘との統一気運がそれであります。

第3の問題点は、交通事故、火災を代表とする不確定要素を含む諸種の災害の広域化であります。これに関しては、昨年の梅雨時に異常発生した不快害虫「ヒメヤスデ」の事件が、その象徴的な出来事であるといえましょう。今までは、住宅の分布が比較的散漫であった為、個別の問題として把握されその中で解決されていた問題が、住宅の密集という地域的な分布、発展に伴い、個別の問題ではない、地域的な拡がりを持つ、いわば共通のテーマとしての問題を私達に現実的な全く新しい観点で提起しました。

以上3点の問題に関しては、今後私達の「つつじが丘自治会」が、自治会活動を真に住民（自治会員）に密着した原則的な活動として定着、継続させる上で、避けて通る事の出来ない重要な問題であり、重要なテーマである事を55年度の自治会活動の中で痛感致しました。

第1、第2の問題点に関しては、55年度当初にも充分予測できた為、私達は、自治会規約の一部改正を総会の席上でも皆様にお計りし、自治会組織を一部変更し、組織の有機的な運用による、自治会の主体性を保持した活動を目指し、広報委員会を事務局から分離し、広報部として独立した組織として位置づけ、対市の行政窓口としては広報部を通しての活動をするに伴い、自治会内部に於ては、広報区内での広報活動、自治活動をできるような方向づけをしてまいりました。

しかしながら、理念的な位置づけのみの感はまぬがれず、広報区内の活動に対する予算的な裏付の欠除と広報活動に関する意志統一、情宣不足から、必ずしも当初予測していた満足な活動が出来なかった事は誠に残念であります。

しかし、その中であっても広報区内での活動の芽は、「ヒメヤスデ」事件の貴重な経験から、55年度後期に入ってやっと出はじめ、この動きは来年度以降の活動の方向性と方法いかんによっては大きく育ち、私達の自治会活動の源泉として定着するものとの確信を得ました。

第3の問題点に関しては、55年度当初の交通災害に対する道路標識の設置、現実的な災害に即応できる防護団の再編の模索等を通して対処してまいりましたが、不確定要素である「ヒメヤスデ事件」に関しては、全く予期せぬ出来事で、事態の重大性に気づいた時に、自治会としての具体的な行動が早急に取れず、どう対処したものかと苦慮したものであります。この様な事は、将来も住宅の密集とともに、より大きな危険性を帯びて私達の前に現実となって現われる事は、予測にかたくないと思われれます。その対処の方法を具体的に活動方針の中へ組入れ、現実的なものとしておく事の必要を痛感しました。

以上の3点の問題点をふまえ、来年度つづきが丘自治会としては「地域に密着した活動」を定着させ「クリーンナップ作戦」をテーマに、会員相互の親睦を計ると共に、それを通し連帯感の高揚をし、「新しい街」づくり、「新しいふるさと」づくりをする為以下の事を試行致します。

第1、第2の問題点に関しては、会員増加による組織の見直しとして、現在の4広報区をさらに1広報区増設し5広報区とし、新たに班の編成の見直しをし、将来的な班の配列をも考慮した新班態勢を組み、班組織を通しての会員間の親睦、連帯感の高揚を計り、自治会活動への参加意識の開発をし、広報区内での活動の

充実と有機的な組織の活動をより緊密にします。その為の具体的な裏付として来年度予算では、各広報区の戸数割で広報活動費を計上致しました。これにより広報区内での自主的な活動がより一層活発になり、自治会活動をする上での連帯感の高揚が計られるものと期待されます。

さらに、対外的な活動としては、小・中学校のPTAは言うに及ばず、子供会、広報会組織も「八木山小校下」として統一され、それぞれ「八木山校下子供会」「八木山校下連合広報会」として、来年度以降は活動する事が決定されております。特に「八木山校下連合広報会」は、市の行政単位としては新たな位置づけとなり、より一層その地域的な活動が活発になる事が予測されます。

又、今年度発足した、八木山校下青少年育成会議も、広報会、子供会、老人会、婦人会等の諸団体の協力により、地域的な拡がりのパイプ役として位置づけられ、今後の発展が注目されるところであります。

第3の問題点に関しては、その発生が不確定要素に左右され、あらかじめの予測が困難である為、緊急災害として位置づけ、それが発生した時に早急な対処が自治会として出来るよう、新たに予算的な措置として緊急災害準備金の項目を設け、広域的な災害が発生した場合は、その準備金を支出し、災害に対して早急な対策が講じられるよう考慮しました。もちろん、その年度に緊急災害が発生しなかった場合その準備金は積立金として繰越し、より大きな災害に対しても自治会として対処できるよう準備する事とします。

また、今まで懸案事項とされていた空地の清掃が、昨年度興人の協力と不在地主への呼びかけと連動して実施され、予測以上の成果を上げました。この為、来年度も春、秋の年2回予定されている団地内清掃の時期に合せ、空地の美化災害予防を徹底し、「クリーンナップ作戦」の目玉行事として位置づけをし、より強力で推進する事といたします。

発足当初より試行錯誤を繰返しつつも、自治会の組織的な未来図と真の目的がやっと見えかけて来たような気がする55年度の活動でありました。

また、新しい活動の場としての集会所も完成し、各団体の活用もさることながら、役員会、班長会議等も快適に行えるようになり、その利用状況も当初の予測を上回るようであります。

個々の要求が、地域的な拡がりをもった大きな意志として、私達のつつじが丘自治会を動かす事は事実であります。「新しい街に、新しいふるさとを」の私達つつじが丘自治会の永久のテーマは、来年度は地域密着した活動である「クリーンナップ作戦」に象徴されております。こうした着実な活動の積重ねは、会員諸氏の自治会活動への献身的な協力が、今後も自治会活動の源泉であり、「新しい街づくり」をより一層推進する近道であると信じてやみません。

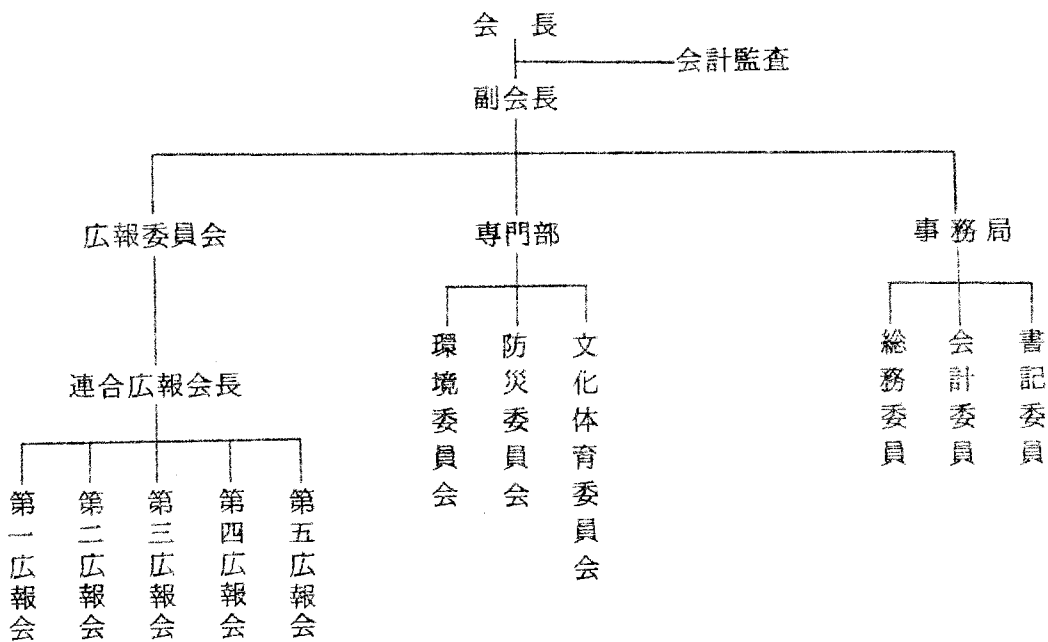
来るべき56年度の自治会活動の成否の鍵は、会員諸氏の掌中にある事を深く思い、自治会活動への諸氏の積極的な参加を切に願い、55年度の会務報告と致します。

(資料)

① 55年度 月別会員数の推移

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
会員数	346	350	352	357	359	365	372	379	390	394	395	

② 56年度つつじが丘自治会組織図



専門委員会報告

(広報委員会)

① 本年度は町情勢に即応した斬新的な試みとして、従前の事務局部局内に位置づけられていた広報委員を、新しく広報委員会として昇格発足して、役員構成を連合広報会長、広報会長、副広報会長等を置き各々の分野において各自の職務を把握して会務を執行することとなりました。

当初新しい試みでもあり、剩へ全員新任という事で、不馴れなこともあり、必ずしも会務執行にあって充実を期し得なかった事は**憂**ない事実でありましたが、其の後日を重ねるにしたがい他役員との協調、会員相互の研鑽努力により、広報会長(市長委嘱)職務として市行政事務の連絡等円滑な職務執行をなし、又、地域住民の切実なる生活に密着した要望改善等の声を吸収し、市当局に請願するとともに、実施の促進をなし、又、隣接自治会との良好な関係維持交誼に機会ある毎に努力してきたところであります。

② 本年7.15 55各広141号

実状に適応した広報会改編についての通達に基き、鶴沼連合広報会長(■■■■氏)より、つつじが丘・松ヶ丘両広報会は第一連合会より分離して、校下連合会(仮称八木山連合会)を創設統合すべきでないかと**懸念**がありましたので、当広報会並第一地区連合会長(■■■■氏)松ヶ丘■■■■広報会長と数次に亘り、分離統合するについての適否、利害、得失又予測される諸問題について討議検討した結果、何等支障なきものと確認され、又、肥大化した現況の第一連合会(17広報区)の統卒上の困窮をも勘案して、分離統合して八木山連合広報会を創設することに合意したので、市広報課長を通じ各務原市長に受諾する旨報告し受理されました。

これにともない地区連合広報会として対外的な地位も大きく優位な体制が確立され、市政に対する発言力も強大となり、地域住民の要望改善事項等に対しても粗略な扱いもなくし真摯な対応が期待されるものと思料される。

③ 来年度当自治会運営の活動基本方針の構想として、既存の4広報会を1広報会増設して5広報会となし、町割編成をしましたので、各広報会は、自治会長を

擁立して相互に緊密なる連繫協調をなし、市政への参画、地域発展のため活躍されることを切に庶幾次第であります。

以上広報委員会会務報告とします。

(環境委員会)

春秋年2回の団地内清掃、毎月の公園清掃は、多くの会員の皆様の参加を得てすすめてまいり事が出来ました。

6、7月頃にかけて、当団地内の空地雑草中に不快害虫ヒメヤスデが異常発生し、家屋に侵入する事態がおき、会員の皆様より何らかの手をうっていただきたいとの要望があり、防除対策として、害虫駆除方法回覧、薬剤幹施、草刈機購入、広報区毎に空地雑草の刈取り清掃を行いました。又、秋の団地内清掃期には、第二種会員の皆様に空地雑草の刈取り清掃に協力していただくよう、要請文書を郵送致しました。その結果は、郵便到着数294通で201区画分の空地雑草刈取り清掃が済まされており、68.3%の達成率でした。その他、電話、手紙等での問合せもあり、非常に協力的な反響でした。

環境委員会には、毎月の班長会議を通じてゴミの収集問題、野良犬、犬の放し飼い、犬の糞の問題等生活環境問題が常にだされてきますが、回覧文書での注意喚起や、ゴミ集積場の増設3ヶ所、8、9月にかけてはゴミ集積場の防疫薬剤での消毒、当団地内に住宅を建設される業者に、安全で住みよい環境維持のための事項を警告書で喚起するなど、少しでも生活環境を良くするために努力してまいりました。

尚、空地の美化(清掃、除草)定期的に行う。害虫、雑草(毒草)ゴミ等、不快要因の徹底除去等今後取くむべき環境諸問題が、数多く残されております。

良好な生活環境の保全是、会員の皆様ひとりひとりの意気込みにかかってくると思えます。「新しい町づくり」の為一層の御参加、御協力をお願い致します。

(防災委員会)

「明るい街、安全な街、つつじが丘」を目標にして春、秋の消火訓練、防災PR映画会、119と市民のふれあい広場等を通じて、初期消火の重要性を学び、

消火ホース2基の増設あるいは、訓練前に消火設備の点検をして、防火意識の向上に務めて来ました。

団地内支線道路の進入口に速度制限標識と2丁目、4丁目に一旦停止標識を設置すると共に、婦人会の協力による交通安全講演会を実施して来ました。

又、8丁目南端の街路灯の設置を含め計28基の街路灯が設置され、明るい街、安全な街作りに務めてまいりました。

今後の課題としまして、防災活動を身近なものにして、いつでも、誰れもが防災設備を使用出来る、自主防災組織の展開。

交通対策の面では、広報会、PTA、子供会、婦人会等との協同步調をとり、一体と成った安全対策を関係方面に働きかけが必要と思います。

今年度も大きな災害、事故もなく、無事過ごす事が出来たのも、会員の皆様方の努力が有っての事と存じ、委員一同御礼申し上げるとともに、「明るい街、安全な街、つつじが丘」を旨として、皆様方の一層の御協力をお願い致します。

(文化体育委員会)

つつじが丘自治会会員間の親睦と近隣自治会の関係を強化する目的で、本年度は、5月に「ハイキング」、8月に「盆踊り大会」、10月に「八木山校下大運動会」を行いました。

5月の「ハイキング」は、八木山周回の東海道自然歩道の散策を、例年の春の球技大会がグラウンドの都合で出来なかったこともあり、初の試みでしたが会員各位の御理解も得て、100名余の参加者が家族そろって楽しい一日を過ごしました。

8月には、恒例の「盆踊り大会」を、2日、3日の両日のべ500余名の参加を得て盛大に行うことが出来ました。盆踊りも回を重ねるにつれ、参加された人人の中にも踊り上手の方々が多勢みられたようです。特に3日は小雨で決行しましたが、最後には、前日にも増す多数の参加者があり、中央公園狭しと感じさせる程でした。

10月の「八木山校下大運動会」は、準備の段階で松ヶ丘自治会と細部の調整

に手間取り、準備の遅れが気になりましたが、両自治会、会員各位のご協力により、のべ参加者も1000名を越え、例年にも増して盛大に開催出来ました。

以上の行事を通じて、目的のかなりの部分は満足出来たと思いますが、大きな8つの行事に追われ、新しい活動に目を向けられなかったことが反省点としてあげられます。しかし、皆が結束し、ひとつの事に当れば、そこに相互信頼感が生まれ、「ふれあい」の輪は拡がるものであると確信しました。

今後は、こうした行事も八木山校下単位として、松ヶ丘自治会との連繋のもとに輪を拡げ、ひとつひとつ成功させることと、今期達成出来なかった同好会などの積極的育成を通じて、地域住民間の信頼強化を目標にしたいものです。

最後に、皆様方のご理解とご協力に対して、お礼を申し上げますと共に、今後も自治会の潤滑剤としてのこういった活動への参加、ご協力をお願いして報告とさせていただきます。

55年度 活動概況

月	団地内活動	渉外活動
4	第5回定時総会(6日)	広報会長会議(19日) 区長会会議(29日)
5	ハイキング大会(18日) 集会所植樹 速度制限標識設置 防犯灯点検	鶴沼地区防犯組合総会(11日)
6	春季団地内清掃、防火訓練(8日) 防災地図作成	
7	ヒメヤスデ駆除対策 動力草刈機購入 3台 薬剤幹施、空地雑草刈取り 防犯灯設置 5基	ヒメヤスデ団地内異状発生に伴い 市より実態調査(10日) 市民清掃の日-大安寺川(13日)
8	盆踊り大会(2・3日) ゴミ集積場消毒	
9	ゴミ集積場消毒 交通安全講演会	市へ上池堤防除草要請(10日) 敬老のつどい(17日)
10	八木山校下大運動会(5日) 不在地主へ空地清掃の要請文書 送付(27日) 防犯灯設置 20基	
11	ゴミ集積場新設7丁目2カ所(6日) 秋季団地内清掃、防火訓練(9日) 自主防災PR映画会(29日)	鶴沼西町火見櫓建設協力(5日) 市民清掃の日-大安寺川(16日)
12	防犯灯修理 消火ホース設置 2基 4・5丁目	
1	芝刈機購入 2台 防犯灯設置 8丁目	野犬の駆除要請(7日)
2	各公園への植樹	
3	ゴミ集積場新設 5丁目 1カ所 119・市民・ふれあい広場 防犯灯点検修理	

昭和55年度 会計決算報告

(基金の部)

科 目	金 額	備 考
昭和54年度基金残高	9,185,713	55年2月1日現在
昭和55年度増加分	320,000	
合 計	9,505,713	56年3月10日現在

(収入の部)

科 目	当初見込額	収 入 額	備 考
前年度繰越金	356,365	356,365	
自治会費	2,160,000	2,227,000	@500×4454戸
自治会入会金	80,000	52,000	@1,000×52戸
自治会基金利息	417,000	576,000	金銭信託より
広報会長報酬	156,000	163,650	
広報紙配布手数料	324,000	346,950	
公園清掃報酬	220,000	220,000	
雑 収 入	50,700	55,462	利息、他
合 計	3,764,065	3,997,427	

(支出の部)

科 目	予 算 額	支 出 額	備 考
自治会総会費	50,000	33,200	タイプ、紙代
街路灯電気料金	830,000	647,724	修理含む
事務局関係費	820,000	831,504	
(事務費)	70,000	74,330	事務用品代
(交通通信費)	50,000	20,820	2種会員通信事務
(備品購入費)	600,000	621,675	ファックス、温風ヒーター他
(予備費)	100,000	114,679	会議費
集会所運営費	200,000	187,666	光熱費、TEL代他
広報活動費	168,000	168,000	
(活動費)	48,000	48,000	広報会長、交通通信費
(助成金)	120,000	120,000	子供会、老人会、婦人会
環境対策費	320,000	288,950	
(清掃対策費)	40,000	36,700	ゴミ袋、子供ジュース代他
(清掃用具購入費)	120,000	96,370	芝刈機他

科 目	予 算 額	支 出 額	備 考
(緑化対策費)	160,000	155,880	集会所前、公園植樹
防 災 対 策 費	330,000	318,930	
(防災行事費)	26,000	32,230	防犯組合、消防署御礼
(交通安全対策費)	130,000	112,700	道路標識設置他
(消火器具備品費)	174,000	174,000	消火器具2セット
文 化 体 育 費	600,000	580,763	
(盆踊り大会費用)	320,000	315,295	飲物、備品他
(運動会費用)	230,000	215,468	賞品、備品他
(春季体育大会)	30,000	30,000	宝さがし賞品他
(同好会助成金)	20,000	20,000	ソフト、女子バレー
地 域 社 会 交 際 費	100,000	100,000	青少年育成会議他
集会所増築準備金	100,000	100,000	定期預金
予 備 費	246,065	300,500	害虫対策、草刈機他
合 計	3,764,065	3,557,237	

55年度収支残高

収 入 総 額	支 出 総 額	残(56年度繰越)
3,997,427	3,557,237	440,190

以上、昭和55年度会計決算報告に誤りのないことを証明致します。

会計監査

■■■■■■■■■■

会計監査

■■■■■■■■■■

56年度 予 算 (案)

(収入の部)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	440,190	
自治会費	2,556,000	@500円×425戸×12ヶ月 55年度平均は371戸
自治会入会金	50,000	@1,000円×50戸
自治会基金利息	600,000	三井金銭信託より
広報会長報酬	179,250	均等割 12,000×4 = 48,000 世帯割 150×425 = 63,750 " 150×450 = 67,500
広報紙配布手数料	393,750	450円×425戸 = 191,250 450円×450戸 = 202,500
公園清掃	220,000	市よりの年間報酬
雑収入	58,500	美しい町づくり報償金、他
合 計	4,497,690	

(支出の部)

科 目	金 額	備 考
自治会総会費	50,000	昭和56年度分
街路灯電気料金	810,000	補修費、増設分見込み
事務局関係費	470,000	印刷、事務用品、会議費他 2種会員通信、交通費 団地図、座布団他
事務費	80,000	
交通通信費	50,000	
備品購入費	240,000	
予備費	100,000	
集会所運営費	250,000	光熱費、倉庫改修費、火災保険料
広報活動費	793,000	広報区単位活動費、広報会長活動費 子供会、老人会、婦人会
活動費	573,000	
助成金	220,000	
環境対策費	530,000	ゴミ袋(大掃除、公園清掃用)他 草刈機 6台、用具補充 植樹、花壇、肥料
清掃対策費	50,000	
清掃用具購入費	320,000	
緑化対策費	160,000	
防災対策費	265,000	消防署謝礼他 ステッカー他 消火栓2基増設
防災行事費	15,000	
交通安全対策費	50,000	
消火器具備品費	200,000	
文化体育費	560,000	飲物、備品、他 賞品、備品、他 賞品、備品、他 ソフト、女子バレー
盆踊り費用	250,000	
運動会費用	250,000	
春季体育大会	40,000	
同好会助成金	20,000	
地域社会交際費	150,000	青少年育成会議、他
集会所増築準備金	100,000	
緊急災害時準備金	200,000	
予備費	319,690	
合 計	4,497,690	

56年度自治会役員名簿

取 務	氏 名	住 所	電 話 番 号
会 長		5丁目	
副 会 長		3 "	
会 計 監 査		5 "	
"		8 "	
総務委員		2 "	
"		2 "	
会 計 委 員		4 "	
"		6 "	
書記委員		7 "	
		1 "	
広報会長(甲)		2 "	
副 "		1 "	
広報会長(乙)		3 "	
副 "		3 "	
広報会長(丙)		4 "	
副 "		4 "	
広報会長(丁)		5 "	
副 "		8 "	
広報会長(戊)		7 "	
副 "		6 "	

取 務	氏 名	住 所	電 話 番 号
環境委員会 委員長(2)	[REDACTED]	3丁目	[REDACTED]
副 " (1)		2 "	
委 員 (23)		4 "	
" (24)		5 "	
" (25)		7 "	
所長委員会 委員長(2)		4 "	
副 " (1)		1 "	
委 員 (2)		3 "	
" (2)		8 "	
" (2)		7 "	
所長委員会 委員長(2)		4 "	
副 " (1)		6 "	
委 員 (2)		1 "	
" (2)		3 "	
" (2)		5 "	
婦人会	7 "		
老人会	1 "		
子供会	6 "		
同好会 ソフトボール	5 "		
バレーボール	5 "		
市体育委員	4 "		
青少年育成委員	3 "		